



今月の人権標語

「あれ、おかしい」 ちょっと感じたら 即行動

前回の人権だよりで石井先生が紹介された、茨木のり子の「自分の感受性くらい」という詩は、「ばさばさに乾いてゆく心を／ひとのせいにはするな／みずから水やりを怠っておいて」から始まります。自分の至らなさを人のせいにはいけないとうたい、そして最後に「自分の感受性くらい／自分で守れ／ばかものよ」という痛烈な言葉で終わります。人は人、自分は自分。柔らかい心でいたいものだ、と思います。

「ありがとう」の反対は？

理科 渡部 甫

「ありがとう」の反対は何だと思いませんか。私は最初、「ごめんなさい」だと思っていました。しかし、ある記事を読んでなるほど！と納得しました。それを今日はみなさんに紹介したいと思います。

「ありがとう」とは漢字で書くと「有難う」＝「有難し」です。これは「有ることが難しい」という意味です。すなわち反対の意味では「有ることが簡単、有って当然」ということ。「ありがとう」の反対は「当たり前」となるのです。何事も「当たり前」だと思って生きていくと、「ありがとう」という言葉は決して出てきません。

- 歩けるのが、あたりまえ。
- 目が見え、耳が聞こえ、話せるのが、あたりまえ。
- 手足が動くのが、あたりまえ。
- 毎朝目覚めるのが、あたりまえ。
- 食事ができるのが、あたりまえ。
- 息ができるのが、あたりまえ。
- 友達といつも会えるのが、あたりまえ。
- 太陽が毎朝昇るのが、あたりまえ。
- 産まれてきたのが、あたりまえ。
- 家族が毎日帰ってくるのが、あたりまえ。
- そして・・・生きているのが、あたりまえ。

すべての「あたりまえ」を「ありがとう」に置き換えてみてください。

誰しも、今日と同じ日が明日も繰り返されると思っているでしょう。今日、誰かと出逢い、話し、笑い、食事をして、勉強ができる、仕事ができる。こんな当たり前だと思えることが、本当は奇跡の連続なのです。生きて、出会う、という奇跡の連続に「ありがとう」を言わずにはいられないはず。一度身の回りの「当たり前」に目を向けてみましょう。もし、それがなくなったらどうなるか。きっとありがたく感じると思います。当たり前にありがとうを。ありがとうを当たり前。

みなさん、読んでくれてありがとう。

□■ みんなの声 ~前回の人権だよりを読んで~ □■

<生徒からの声>

- ・この人権だよりを読んで、確かに自分が発した言葉は思い出せないけど、他人に言われた言葉は覚えていることが多いと思いました。だからこそ、相手に対する自分の発言は誠実でないといけないと思いました。
- ・文字で会話するのは、難しいし、ややこしいと思うことが最近増えました。直接話すときよりもっと言葉に気をつけ、相手の気持ちを考えて送信ボタンを押したいです。
- ・僕はまた強い衝撃がくるような言葉に出会ったことがありません。衝撃を受けるほどの言葉に出会えたら僕の世界観などいろいろ変わるので、もっと本を読もうと思いました。
- ・「言葉」は、人によっていろいろな捉え方ができるもので、自分が思ったように伝わるときもあれば、伝わらないときもあります。そんな中で、デジタルの文字に頼らず、自分から言葉をどんどん発することができるようになりたいな、と思いました。
- ・自分は、家に帰って一日の中でいらぬことを言ったり、人が嫌な思いをするようなことを言った時、反省します。何回も反省しますが、ふとした時、自分の気付かない間に言っていることもありました。もっと一つ一つの言葉を大切に過ごしたいと思いました。
- ・友達の言葉を聞いて励まされたことは私もたくさんあります。逆に友達が悩んでいる時、自分はどのような言葉をかければよいか分からないときもあります。でも、ささいな言葉でいいから友達にこやかに言うところからスタートしようと思いました。
- ・何気ない言葉で救われるというのは私もありました。何気ない言葉でも、その時の私からしたら、それは大きな言葉でした。

【保護者用】

今月の人権だよりを読んでの感想をお願いします。 ※締切り 10月26日(金) ()年 保護者

【生徒用】

今月の人権だよりを読んでの感想を書こう。 ※締切り 10月26日(金) ()年 ()組

